

γ-オリザノール

本品は、イネ *Oryza sativa* Linné (*Gramineae*)の種皮から得られ、主としてトリテルペンアルコールのフェルラ酸エステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、フェルラ酸シクロアルテニル(C₄₀H₅₈O₄:602.90)として98%以上含む。

製造方法

イネ *Oryza sativa* Linné (*Gramineae*)のモミガラを除去した種子(玄米)を精米する際に生じる米ヌカを原料とし、その中に含有する油脂及び微量成分類を抽出する。

この抽出油中のガム質、ろう、遊離脂肪酸を除去した後、n-ヘキサン(JIS K8848)、無水エタノール(1級)、水酸化ナトリウム(JIS K8576)、硫酸(JIS K8951)を用いて粗γ-オリザノールを抽出する。得られた粗γ-オリザノールからn-ヘキサン(JIS K8848)を用いて再結晶することにより製する。

原料・米ヌカ 1000kg → 製品 0.5~1.0kg

性状

本品は、白色～淡黄色の結晶又は結晶性の粉末で、においは無いが、又はわずかに特異なおいがある。

確認試験

本品のn-ヘプタン溶液(1→100,000)は波長229~233nm、289~293nm、313~317nmに極大吸収部を有する。(γ-オリザノール)

本品0.01gに水酸化カリウム・エタノール試液10mLを加え、加温して溶かすとき、液は、黄色を呈する。(γ-オリザノール)

本品0.01gにアセトン2mLを加えて溶かし、塩化鉄(Ⅲ)六水和物のエタノール(95)溶液(1→50)0.1mLを加えるとき、液は、黄緑色～緑色を呈する。(γ-オリザノール)

純度試験

重金属

本品1.0gをとり、第2法により操作し、試験を行うとき、その限度は、10ppm以下である。ただし、比較液には、鉛標準液1.0mLをとる。

ヒ素

本品1.0gをとり、第3法により試料溶液を調製し、試験を行うとき、その限度は、2ppm以下である。
乾燥減量:3.0%以下(1g,105°C,1時間)

強熱残分:0.5%以下(第1法,1g)

定量法

フェルラ酸シクロアルテニル

本品を 105℃で1時間乾燥し、その約 0.01g を精密に量り、n-ヘプタンを加えて溶かし、正確に 100mL とする。この液 10mL をとり、n-ヘプタンを加えて正確に 100mL とし、層長 10mm、波長 315nm 付近の吸収極大波長で吸光度 A を測定する。

$$\text{フェルラ酸シクロアルテニル}(C_{40}H_{58}O_4)\text{の量(mg)} = (A/363) \times 10,000$$

一般生菌数

衛生試験法 細菌一般試験法に従い、標準寒天培地を用い、試料原液を希釈液で 10 倍希釈し試験を行うとき、一般生菌数は 1×10^2 個/g 以下である。

真菌数

衛生試験法 真菌一般試験法に従い、クロラムフェニコール添加ポテトデキストロース寒天培地を用い、試料原液を希釈液で 10 倍希釈し試験を行うとき、真菌数は 1×10^2 個/g 以下である。

大腸菌群

衛生試験法 汚染指標細菌試験法大腸菌群に従い、BGLB 培地を用い、上記一般生菌数で使用した 10 倍希釈液 1mL を試料溶液とし試験を行うとき、大腸菌群は陰性である。

この規格及び試験方法において、別に規定するものの他は、外原規 通則及び一般試験法を準用するものとする。

商品名： オリザガンマー® V
製造業者： オリザ油化株式会社
愛知県一宮市北方町沼田 1 番地
発売元： オリザ油化株式会社
愛知県一宮市北方町沼田 1 番地

発行日： 2014 / 08 / 27

改定日： 2021 / 08 / 18